

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月24日		記入者		連絡先 2626
部 名	保健福祉部	課 名	高齢者福祉課	課長名	市川正美
事務事業名	自主事業費				
予算上の事務事業名	若竹園趣味の講座運営及び健康相談業務委託				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	11220	
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります				
基本施策名	第2節 いきいきとした高齢社会の創造				事業開始年度
施策名	第2施策 高齢者の社会参加と生きがいづくり				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	老人福祉法13条、相模原市老人福祉センター条例、相模原市老人福祉センター条例施行規則				
3 個別計画の概要	概要				
計画名	第2期相模原市高齢者保健福祉計画		高齢化が進む中で高齢者が住みなれた地域で健康で安心して生活できるよう瀬策等の展開を計画するもの。生きがいや交流の場の確保・学習機会の充実		
計画年次	15	年度～	19	年度	
4 事業形態の区分					
5 事業概要	<p>(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)</p> <p>高齢者が健康で生きがいのある生活を気づくことができるよう、趣味の講座及び健康に関する相談を実施する。学習機会の充実。</p> <p>(2) 対象 (誰、何)</p> <p>市内在住で60歳以上の方</p> <p>(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。</p> <p>○高齢者初歩教養講座 3講座 (カラオケ・水墨画・押花) 各講座10回実施した。受講者・・・計57人 (定員60人・応募者97人・応募倍率1.61) ○健康相談 月に1回、医師による健康相談を実施した。相談者・・・ 77人 相模原市医師会に委託し実施した。</p>				
6 関連・類似事業や他市の状況	あじさい大学・高齢者学級				
7 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	910	847	850	886	886
一般財源	910	847	850	886	886
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	0	0	0	0	0
事業コスト合計	910	847	850	886	886
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	高齢者教養講座運営費			対象名称と単位	1講座 (1回) 当り
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	288	285	288	288	288
対象数	36	30	57	60	60
単位あたり経費(円)	8,000	9,500	5,053	4,800	4,800
前年度比		1.19	0.53	0.95	1.00

9 活動指標・・・実施した内容(活動)を数値化したもの					
指標名と単位	延受講者人数(人)		指標式と指標の説明	延受講者人数(人)	
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度(目標)
実績	888.0	448.0	500.0		
目標	888.0	600.0	600.0	600.0	600.0
目標達成度(%)	100.0	74.7	83.3		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	受講者の満足度(%)		指標式と指標の説明	満足した人数/受講者数	
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度(目標)
実績	96.0	95.0	98.0		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度(%)	96.0	95.0	98.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
B	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価(一次評価)					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★] : 良好な状態を維持する事業				
	[★★★★] : 概ね良好な状況である事業				
	[★★★] : 見直しを行う必要がある事業				
	[★] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価(今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		高齢者の生きがいをいづくりに有効な施策であり、受講者の満足度も高いため継続していく事業である。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
平成16年度からNPO法人に委託し実施しているが、より多くのNPO法人の実施内容との比較をし、受講者のニーズを把握し内容の充実や新規講座の開拓を図る。			講座の種類及び内容の検討		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			